

決算
常任委員会

付託案件 8件

議案第48号

繰越金の増加は。

経済対策など国の施策による年度途中に行う状況や石部駅周辺整備事業の多額の繰り越しです。

問 ホール主催事業入場料が予算見込より423%の理由は。

答 入場数300名以上は6事業。今後市民ニーズを敏感にのみ事業をしていきます。

問 防災士育成事業負担金の不用額の理由と地域との連携は。

答 防災士の育成数は地域差があります。地域防災力向上のために、推薦して下さいと区・自治会・まち協にアプローチし、毎年度30名の予算ですが、5年度は19名の要請に留ま

りました。湖南省防災士連絡会は、情報共有、スキルアップを目的に、地域に還元する組織の見直しや地区防災計画の策定、地域の防災力向上を検討いただいていますので市も入り、助言をしていきます。

問 道路維持補修事業で要望に応えきれないボトルネックは何か、人的リソースなのか。

答 415件の要望すべてではないが、ある一定、区・自治会等と同意の上で進める中で、ほぼ満足いただける結果だと思いますが、人員不足により工事の実施が進められない箇所もありました。

問 コミュニティバス高齢者無料乗車券の配付、利用枚数の増えた理由は。

答 両庁舎で直接申請は即日交付。各まちづくりセンターでの申請は時間がかかりますが年リットはありますが年間約70件申請があり増加と周知が図られてき

ました。湖南省防災士連絡会は、情報共有、スキルアップを目的に、地域に還元する組織の見直しや地区防災計画の策定、地域の防災力向上を検討いただいていますので市も入り、助言をしていきます。

問 インクルーシブ教育のソフト面での加配対応はありますが、ハード面については。

答 施設のバリアフリーで各学校から要望があるのはエレベーターです。大規模改修、改築工事をした学校は、整備されています。

問 3万円給付と7万円給付世帯の差とその後の対策については。

答 未申請の方に、広報などで案内はしましたが、期限のある事業なので、支給ができない方もおられます。

給付額	非課税世帯	給付世帯	執行率
3万円	4015	3083	94.70%
7万円	4037	3882	96.30%

(82世帯6年度繰り越し)

問 こどもの居場所づくりモデル事業委託の成果とマニュアル2300部の活用は。

答 令和5年度は1カ所まで延べ290人の利用があり、アンケート

でもニーズがあるところかみ、令和6年度は2ヶ所で事業を実施。来年度以降、4中学校区に1ヶ所ずつ進めたいと考えています。マニュアルは、各区に配布して、今年度、菩提寺まちづくり協議会の取り組みとして、夏休みのこどもの居場所事業を取り組んでいただ

きました。その他マニュアルを見て、区自治会館を開放していいかないかという相談もあります。夏休みに限らず、自治会館やまちづくりセンターの開放などの取り組みに、市が支援していく指針を今後検討します。

反対討論
正規職員が減少、休職者の増加も影響し、時間外勤務は増加状況。多くの仕事を会計年度任用職員に支えられている現実。事務処理ミスの公表が頻繁。適正な職員配置や再発防止のための複数チェック等にも留意頂きたい。国が推し進めるマイナ

ンバーカードについては、情報が一元化され、リスクを伴うものであり、行政として推し進めるものでない。

直営運営に戻された文化ホール事業は、利用者が増え、文化に触れる機会が増えたことは評価できるが、設備面では問題山積みです。令和5年度末で、あいのりこなんの実証実験が終了し、その実証結果も市民に知らされな

いまま、コミバス運行便の大幅な減便、市民不在の事業が見受けられるため決算の認定は否とします。

賛成討論
新型コロナウイルス感染症は5類に移行され、ようやく普段の生活、社会生活に戻りつつ、市民活動においても各種イベント等が復活し、活気が戻りつつある中、石部駅周辺整備をはじめとした大型事業や生活密着の認定こども園、高齢化対策、障がい福祉、道路維持、コミバス運行等の事業

も着実に推進。今後地域経済がより活性化されるよう積極的に取り組まれることを期待し、可とします。

賛成多数で認定
議案第49号

問 特定健診の受診率目標値60%に対して、43.2%、啓発は。

答 特定健診で心電図も行っている啓発と毎年の受診が最大の予防保健指導などの周知の強化を行います。

反対討論
子どもが多ければ多いほど、保険税が上がるといふ仕組みを変えていくためにも、国の支援金を増やす。県の統一化では、保険税がどの市町も上がるといふ状況であり否とします。

賛成討論
収納率や特定健診の受診率の向上など課題はありますが、原因を考え、実際に動かれているということできとします。

賛成多数で認定